

「市長への手紙」HP掲載データ（令和2年5月分）

見出し	0205-1 栄町第32地割の道路の排水対策
ご意見	<p>栄町第32地割の道路の排水対策についてお願いします。</p> <p>久慈小学校付近より数年前に排水路（1m×1m位）が出来て久慈川に排水されているが、久慈川の水位が高くなれば水門が閉鎖されて排水できない。この水路を下石畑商店前（2m×2m位）の用水路につながると排水されると思う。</p> <p>また、U字溝が三河畳店付近から上りになっていて、排水できない作りになっている。雨が多く降れば45cm位も道路に水溜まりができる。</p>
回答	<p>久慈小学校付近からの側溝の排水については、平常時は元久慈菓子パンセンター脇の樋門（ひもん）から久慈川に流れておりますが、大雨時には久慈川の水位が上昇し排水できなくなるため、建設会社に委託した水中ポンプで排水作業を行っています。</p> <p>ご提言のありました下石畑商店様南側の水路に接続した場合、門前ポンプ場で排水することになり、施設の排水能力から計画以上の排水をすることができません。</p> <p>このことから、当面の間、水中ポンプによる排水作業で対応してまいりますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>U字溝の排水については、久慈中学校北側の交差点から西側に向かい、道路を横断して水路に流れていますが、現地を調査した結果、道路側溝（深さ30cm）に土砂（深さ10～20cm）が堆積し、流れにくい状態となっていました。</p> <p>現在、台風第19号により側溝に堆積した土砂については、順次対応しており、当該箇所においても土砂を撤去するなど、排水機能を確保してまいります。</p>
担当課	上下水道整備課 電話：0194-52-2189

「市長への手紙」HP掲載データ（令和2年5月分）

見出し	0205-2 古墳の湯までの手ごろな交通手段がほしい
ご意見	<p>古墳の湯の件です。街なかには銭湯がなくなり、タクシー代往復3千円で週2回、行っていました。送迎バス等、何かいい方法を探していただけたら多くの皆様が喜ぶと思います。気軽に行けたらうれしいと思います。</p> <p>前には古墳の湯のバスが駅に停まっていた。また動いてほしいです。</p>
回答	<p>市内の交通手段は、市が運行している市民バスのほか、民間事業が運行するタクシー等があります。</p> <p>市が運行している市民バスをご利用いただきたいところではありますが、限られた財源の中で運行しているため、生活の足として、通院、通学、買物等の利便性を確保することを優先した運行時間と経路の設定になっており、ご希望の施設まで市民バスの運行を設定することは、現在のところ難しい状況でありますことをご理解願います。</p> <p>今後におきましても、市民バスは市民の皆様にご利用いただけるよう、最適な運行について検討してまいります。</p>
担当課	地域づくり振興課 電話：0194-52-2116

「市長への手紙」HP掲載データ（令和2年5月分）

見出し	0205-3 指定ごみ袋を半透明にしてほしい
ご意見	<p>指定ごみ袋は、今後、半透明にできないものでしょうか？</p> <p>あまりにも見えすぎて、汚物や個人情報等気を使いすぎて不自由です。見られるのも見えてしまうのも嫌です。</p> <p>将来的に考えていただきたいです。</p>
回答	<p>指定ごみ袋は、袋の中に、分別されていないごみや怪我・火災等の原因となる危険物などが混入していないかを目視で確認出来るよう透明な袋にしています。ごみ収集作業員やごみ処理場の作業員の安全確保のための対策でもあり、当面は透明な袋で運用したいと考えていますのでご理解のほどよろしく申し上げます。</p> <p>なお、汚物や個人情報が記載されたごみの取扱いですが、衛生上や個人情報保護の観点から、そのようなごみについては半透明なレジ袋などに入れたものを指定ごみ袋に入れていただいて構いません。</p> <p>しかし、レジ袋自体は「資源物（プラスチック製容器包装）」になる物がほとんどです。上記での活用方法以外では、可能な限り資源物として出させていただくようご協力をお願いします。</p>
担当課	生活環境課 電話：0194-54-8003

「市長への手紙」HP掲載データ（令和2年5月分）

見出し	0205-4 新型コロナの流行により、医療崩壊が起こらないように準備を
ご意見	コロナウイルスで日本中、いや世界中が恐怖の毎日を過ごしています。岩手県にはまだ感染者が出ていませんが、時間の問題だと思えます。一番の不安は、感染者が出たとき、医療崩壊が起こることです。万全の準備をお願いします。
回答	<p>現在、新型コロナウイルス感染症は都市部を中心に感染が拡大し、地域によっては医療現場での院内感染が感染者数増加の原因の一つとなっています。</p> <p>このことから、岩手県では、「岩手県新型コロナウイルス感染症医療体制検討委員会」を設置し、発熱外来の設置調整や軽症者受入施設の確保、休床している病院等の活用検討など、万が一、県内で感染者が大幅に増加した場合に対応できる医療体制を構築するための準備を進めています。</p> <p>久慈市では、新型コロナウイルス感染患者の受け入れが増加することで地域医療機能が著しく低下しないよう、国・都道府県が連携し、広域的な支援体制を構築するよう、全国市長会等を通じ要望を行っています。</p> <p>また、全都道府県が対象となった「緊急事態宣言」を受け、特に感染者発生地域への不要不急の外出や「繁華街の接待を伴う飲食店等」の利用を強く自粛するよう、防災無線や行政連絡区長配布、市ホームページ等において市長メッセージを発信するなど、感染拡大の要因の一つである移動の制限自粛要請に努めています。</p> <p>今後においても、引き続き、感染症予防の重要性の周知と不要不急の外出の自粛を要請するとともに、国や県との連携を密にし、市内での感染者発生を防ぐ取り組みを行ってまいります。</p>
担当課	保健推進課 電話：0194-61-3315

「市長への手紙」HP掲載データ（令和2年5月分）

見出し	0205-5 子ども達には普段通りの学校生活を送らせてほしい
ご意見	<p>子ども達には少しでも普段通りの学校生活を送らせてほしい。学校生活、クラブ、スポ少、特に3年生は、最後の中学校・高校生活の中、部活動にはさらに力を入れ、大会へ向けて頑張ってきたと思います。目標に向かってやってきたことをこのまま終わらせないようにしてほしい。</p>
回答	<p>久慈市教育委員会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて3つの密（密閉・密集・密接）を避けながら学校生活を送るよう各校に取組を指導しています。</p> <p>令和2年4月20日現在、本市でも緊急事態宣言を受け、各校では3つの条件が重ならないよう学習形態や学校生活を工夫し、飛沫感染及び接触感染を避けながら授業や教育活動を行っています。</p> <p>部活動は、感染拡大防止を第一の目的とし、当面、休業日の活動禁止及び他校との交流を減らすために練習試合や合同練習等を行わないこととしています。</p> <p>大会についても同様の理由から、久慈市教育委員会が主催する大会は6月末まで中止としています。中学生や高校生がこれまで努力してきたことの集大成として大会で活躍することは、本人はもちろん応援してきた保護者や地域の方々の願いであることは重々理解できます。</p> <p>しかし、生徒の健康安全があつての大会であるとともに感染者がない今だからこそ、感染防止の大切さを教え、実行し、少しでも早く普段通りの日常生活に戻す必要があると考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
担当課	学校教育課 電話：0194-52-2155

「市長への手紙」HP掲載データ（令和2年5月分）

見出し	0205-6 津波被害を想定して市役所等施設の移転を
ご意見	<p>日本海溝沿いのマグニチュード9程度の地震による津波で日本政府による被害想定案では、久慈市役所における最大浸水深は5.3mと推計されると報道されています。</p> <p>久慈市役所及び防災センターの移転は不可避であり、既存の施設への市役所の機能移転は速やかに実現すべきでしょう。</p>
回答	<p>公表された情報は、湾口防波堤や防潮堤など現状の防災機能を考慮しない条件のもと策定されたものであり、今後、県において、整備済及び整備中の防災機能の効果をふまえ、シミュレーションすると伺っています。</p> <p>市としても、地震をはじめとする自然災害において、その被害程度が最小限となるよう、その災害に備えることは非常に重要であると考えています。</p> <p>災害発生時において、機能不全が発生しないよう対策を講じていく考えであります。ご提言いただきました大規模な都市機能移転については、莫大な財源が必要となるとともに、市民の意向もしっかりと確認する必要があると考えます。</p> <p>施設にとらわれず、久慈市全体としての防災体制の構築を図るうえでも、必要性について十分に精査し判断していきたいと考えます。</p>
担当課	財政課 電話：0194-52-2113

「市長への手紙」HP掲載データ（令和2年5月分）

見出し	0205-7 久慈湊小学校の移転計画は中止を。小中学校の統合計画は見直ししてください
ご意見	津波浸水予想地域内に小学校を建てることになるので、現行の久慈湊小学校の移転計画は中止にし、宇部地区の小・中学校に児童と生徒を通わせる形を含めて、久慈市全体の学校の統合計画の一切を見直し、令和4年度までの宇部中学校の統合といった議会答弁も撤回すべきです。
回答	<p>新久慈湊小学校建設候補地の検討に際しては、久慈市総合防災ハザードマップを基に行っており、候補地選定条件として、津波浸水想定区域内の浸水は1m未満とし、土地嵩上げなどの防災対策を施し、高台への二次避難のための避難経路を確保できる場所を予定しています。</p> <p>また、統合計画は、児童生徒数の減少が見込まれる中で、教育環境の充実を図るための指針として策定した「小中学校の適正配置に関する基本方針」の中で示しているものであり、保護者・地域住民の合意が得られた場合に取り組むこととしていますが、令和4年度を目途に後期計画の見直しを行う予定ですので、今回いただいたご意見を含め、多角的に情報収集し、教育環境の整備について検討してまいります。</p>
担当課	教育総務課 電話：0194-52-2154

「市長への手紙」HP掲載データ（令和2年5月分）

見出し	0205-8 出会いの場がほしい
ご意見	独身だが、出会いの場がありません。職場でも同じ境遇の方が多くいます。婚活は個人レベルの努力では絶望的です。
回答	<p>当市の結婚支援事業といたしまして、公益財団法人いきいき岩手支援財団が運営する、いきいき岩手結婚サポートセンター（通称「i-サポ」）へ登録する場合、初回登録料の半額補助を行っています。</p> <p>また「i-サポ」では市内において月2回「おでかけi-サポ」事業を実施しており、久慈市中央市民センターでi-サポ職員による入会相談等を行うことができますのでご活用ください。なお、利用には予約が必要となりますので、詳しくは「i-サポ」へお問い合わせください。</p> <p>おって、「i-サポ」のHP上においても、県内の婚活イベント等を随時掲載しておりますので、参考までにお知らせいたします。</p>
担当課	子育て世代包括支援センター 電話：0194-66-8282